

C-72 頸部および肩部に関する一考察

文化女子大家政 ○ 栃木美智子 高塚千恵子

目的 身頃原型の衿ぐり線および肩線の適合性をより高めるために、頸部・肩部の基本的計測の必要を感じた。そこで若年女子を対象にシルエッター写真せとり、頸部・肩部の形態を体型別に把握し、体型別作図法の設定に役立てたいと考えた。

方法 ①女子大生100名を被験者とする。シルエッター写真、前・後面とも頸幅・肩傾斜角度・衿ぐりの深さの6箇所とし、側面では頸幅・前後頸傾斜角度・前肩角度・衿ぐりの深さ・SNPの位置の7箇所を間接計測した。直接計測部位は胸囲・胴囲・頸付根囲・背肩幅・背幅・胸幅・SP～前後腋点・前丈・後ろ丈の10箇所とした。②計測結果を統計的に処理し、相関関係・標準偏差などを用いて頸部および肩部の形態を検討した。③その結果、頸部・肩部の形態の特徴をつかみやすい部位、側面前肩角度の計測値を平均値と度数分布から判断して、A・B・Cのグループに分類した。他の計測値も側面前肩角度を基準に同じように分類しそれぞれのグループの計測値の平均値と度数分布を比較検討した。

結果 相関がみられた部位は、前・後面の肩傾斜角度および頸幅・後ろ丈と前丈・側面前肩角度と前・後面頸幅・後ろ頸傾斜および背幅である。各グループの各部位の平均値の比較では、前丈・後ろ丈・胸幅・背幅・後ろ頸傾斜・SNPの位置・前・後頸幅などに、体型上の差異がみられた。